

この度は弊社製品をご採用頂き誠にありがとうございます。
必ずこの説明書をよくお読み頂き、商品の特徴をよくご理解の上施工してください。
こちらは遮音複合フローリングの施工説明書ですのでご注意ください。
本製品は直貼り工法専用になりますので、釘打ちはしないで下さい。
また床暖房には使用できません。

①施工前の注意事項

<現場での保管方法>

直射日光や湿気の多い場所、水気のある場所での保管は避けてください。
また反りなどの変形を防ぐため、保管する際は梱包をしたまま、立て掛けずに平置きにして保管してください。

<商品の確認>

品質には万全を期しておりますが、万が一不良品や傷などがございましたら、必ず施工前にお電話でご相談ください。
施工後の商品お取替えには応じられません。

<下地について>

- 下地はスラブ厚が150mm以上あることが、基本となります。
- 下地の不陸は床材施工後の外観や歩行感等に影響します。凸凹、段差は下地補修剤にて修正し、不陸は1mあたり3mm以内であることを確認してください。(石膏系のセルフレベリング材は使用しないでください。接着不良の原因となります。)
- モルタル下地の場合、含水率が10%以下であることを確認してください。打設後、夏期で3週間、冬期で4週間が目安になります。乾燥が不十分な場合は接着不良や床材の反り、隙、突き上げの原因になります。地形や地質、湿式工事の影響による水分(湿気)には充分ご配慮ください。
- 最も乾燥しにくいと思われる部分の下地表面を最低1ヶ所選定し、1mX1m程度のポリシートの四角を布テープ(ガムテープ)止めにより被覆密閉し、24時間以上放置後、下地表面が濡れ色、ビニールシートの表面に結露していないか、黒く変色していないことを確認して下さい。
- 施工面に粉ふきやホコリ、油・水分等がある場合には十分に除去、清掃してください。接着不良の原因となります。

<仕上がり厚みについて>

- 裏面の遮音材が重みで圧縮されるため、開封後に実際の総厚みを確認ください。
厚みが元に戻ることはありませんので、その厚みで仕上げ調整してください。

<その他の注意事項>

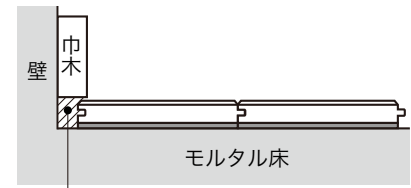
- フローリングは開封後すぐに施工してください。
- 雨天など湿気の多い環境下では施工を控えてください。

②フローリング貼り込みについて

- 1、天然木を使用しているため、木目や色に違いがあります。必ず仮並べをし、全体のバランスを確認してください。
- 2、施工前にほうきや掃除機で下地表面が綺麗に清掃されているか確認してください。
- 3、モルタルの乾燥度を確認し、モルタル水分計で数値が10%以下でなければ施工はしないでください。
- 4、モルタル面の不陸を調査し、1mにつき3mm以内に納まっていることを確認してください。
- 5、貼り込みに先立ち基準墨出し線を引き、割り付けや色合わせをチェックし、巾木までの寸法等を測定し、貼り始めの巾決めをしてください。巾決めをした製品をカットして、エンドの接着部が1カ所に集中しないようにしてください。
遮音材が圧縮されるため、開封後に実際の総厚みを確認しその厚みで仕上げ調整ください。

6、突き上げ、隙などの不具合が発生する場合がありますので、連続した長い床張りとなる場合は、床材の伸びを吸収するために見切り材を入れて、床材と見切り材との間に2~3mm隙間を持たせて施工してください。

床材が膨張し、突き上げが生じる恐れがあるため、壁面との間に3~5mm程度隙間をあけてください。またこれを隠すため巾木を後付けしてください。



3~5mm 程度の隙間を取る

7、**接着剤はウレタン樹脂接着剤(1液ウレタンタイプ)**を使用し、クシ目ゴテで塗布します。

均一にクシ目がはっきり付くようにしてください。酢酸ビニル系(白ボンド)アクリル系エマジョールなどの水性系接着剤は使用しないで下さい。床鳴りや接着不良などの原因となります。

8、接着剤を専用クシ目ゴテで下地全面に塗布し、施工の際は絶対に足で蹴り込んだり、無理に叩き込んだりしないでください。長手方向のジョイント部は軽くふれる程度に寄せ、短手方向のジョイント部は0.2mm程度の隙間をあけて施工してください。

床材をできるだけ近くに置いて横ズラシをなるべく少なくし、接着剤が床材のジョイント部分に溜まらないように施工してください。接着剤が溜まったまま硬化すると歩行感が悪化したり、割れの発生等、防音性能を低下させることがあります。

9、接着剤がフローリング表面または巾木等に付着しないように注意し、付着した場合は素早く取り除いてください。

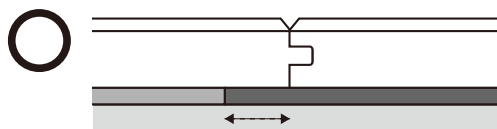
10、開口部及び壁面では床材裏面の緩衝材をカッターで除去し、際根太で補強してください。

「際根太を使用する部位」・・・玄関框、床見切り、掃出し、ドア沓摺り、サッシ、和室敷居等との突き付け部。

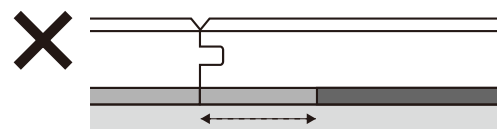
際根太は接着剤でしっかりと固定してください。次に際根太に当たる床材裏面の緩衝材を、際根太に合わせてカットしてから床材を接着剤で固定してください。際根太を使用しないと段差、隙間、床鳴りの原因となります。

際根太は、下地をカットして同梱している2.5mmの際根太を調整して使って下さい。

(不足の場合は現場にて調達願います。)



隣に 20mm 程度かける



40mm 以下

※床材の端部(サネ部分)が際根太から少し出してしまう場合(40mm以下)、サネが破損する可能性があるため際根太の巾を調整してお使いください。際根太が隣の床材にも床材にも20mm程度かかるように調整して下さい。

※「際根太を任意で使用する部位」・・・壁際の巾木下の際根太の設置はお施主様、ゼネコン様、施工業者様で協議の上仕様をお決めください。

※際根太を入れる場合は、際根太を接着剤で固定し、伸縮吸収のため際根太上の床材部分は固定しないでください。

※際根太を入れた場合、家具等が傾く場合があります。

※際根太を入れない場合、壁際を歩いたときや、家具等を置いたときに巾木の下に隙間が生じます。

11、施工後、床材の浮き・接着不良のないことを確認します。

※浮いた部分は重しを乗せ接着剤の硬化する時間を過ぎたら重しをはずして下さい。

③貼り込み後の注意事項

<養生について>

- 養生をする前には細かいごみを完全に取除いてから行ってください。表面への傷の原因となります。
- 養生シートを敷き、その上に合板やダンボールを敷いてフローリングをしっかり保護してください。
- 養生テープはフローリングに直接貼らないでください。塗装の剥がれや表面を傷付ける可能性があります。接着する部分にダンボールなどを敷き、その上に養生テープを貼ってください。
- フローリング全体を覆うように養生してください。一部が露出していると、日焼けにより他の部分と色差の生じたり、目地などに埃やチリが入り取れなくなる場合がありますので注意してください。

<クリーニングについて>

- ほうきや掃除機でほこりなどを取り除き、汚れが付いている場合は固く絞った雑巾で拭き取ってください。水拭きする際は水分がフローリングの隙間に入らないよう、しっかりと絞ってから拭いてください。また水拭き後も水分が残らないようしっかりと拭き取ってください。
- ワックスや洗剤等は使用しないでください。UV塗装塗膜の破壊・ツヤの変化・突き上げなどの原因となります。

④メンテナンスについて

<日常のお手入れ>

- 乾拭き、またほうきや掃除機で掃除をしてください。
- 汚れが付いた場合は固く絞った雑巾で拭き取ってください。水拭きする際は水分がフローリングの隙間に入らないよう、しっかりと絞ってから拭いてください。また水拭き後も水分が残らないようしっかりと拭き取ってください。
- しつこい汚れの場合には中性洗剤を水で薄め、固く絞った雑巾で汚れを取り除いてください。洗剤や水分が残らないようしっかりと拭き取ってください。
- 水分の持ち込みが起こらないように注意してください。場所によっては靴拭きマットを敷くなど必ず対処するようにしてください。フローリング表面はコーティングされていますが、継ぎ目にはコーティングされていません。水分が隙間に入ると反りや突き上げなど不具合の原因となります。

<ワックスについて>

- ワックス塗布は極力行わなわず、そのままご使用ください。フローリング表面はUV塗装されており、ワックスが密着しないことがあります。またワックスによるUV塗装塗膜の破壊・ツヤの変化・変色などの原因となりますので十分ご注意ください。



株式会社 伊勢通

【名古屋本社】

名古屋市中区千代田2-24-16 伊勢通ビル
tel 052-262-7828 / fax 052-262-7830

【東京営業所】

東京都台東区浅草3-8-2-202
tel 03-6240-9350 / fax 03-6240-9351